



洗面化粧台 オフ

取付前の注意

- 取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。

※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。

※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれ付属の説明書に従い正しく取り付けてください。

- 「保証書(取扱説明書裏表紙)」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

- 取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようにご協力ください。

- 付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。

作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

△警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

△注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

△ 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

○ 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

○ 「分解してはいけません!」

○ 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

△ 警告

- 電気・水道工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
※火災や漏電、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
- ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や火災を起こす恐れがあります。

△ 注意

- スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
- 温水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。
- 電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。
- 浴室内などの高温多湿な場所や水に浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

お願ひ

- 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。

※変色や変形の原因になります。

- 不陸が5mm/2mを超える場合は必ず壁を施工しなおしてください。
※不陸があるまま取り付けるとキャビネットがひずむ場合があります。

- 洗面器表面はキズつきやすいので次の点に注意して作業してください。

- ・キャビネットや工具などの固い物を洗面器の上に落としたり、載せてひきずったりしないでください。
- ・洗面器の上に乗らないでください。

※洗面器にキズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。

- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体を拭かないでください。

※変色や変形の恐れがあります。

- 壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損害や劣化の原因になります。

付属部品

化粧台

品 番	FTVN-503 FTVN-603 FTVN-753	FTVN-500 FTVN-600 FTVN-750	FTVN-504 FTVN-604 FTVN-754 FTVH-754	FTVN-605SY(N)1 FTVN-755SY(N)1 FTVH-755SY(N)1	FTVN-605SY(N)1-W FTVN-755SY(N)1-W FTVH-755SY(N)1-W
水栓金具					
鎖付きゴム栓(ギボシ付)	1セット	—	1セット	—	—
洗面器キャップ	1個	—	—	—	—
ブッシュワンウェイセット	—	—	—	1セット	—
横引管	—	—	—	—	1個
ヘアキャッチャー	—	—	1個	—	—
ホースガイド	—	—	—	1個	—
水受けトレイ	—	—	—	1個	—
固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)	—	—	2本	—	—
排水トラップ	—	—	1個	—	—
排水アダプター	—	—	1個	—	—
排水プレート	—	—	1個	—	—
取付説明書・取扱説明書	—	—	各1部	—	—
取っ手	500タイプ 1個	引出しタイプ 3個	扉タイプ 2個	—	—
取っ手取付用ねじ(低頭φ4.0×24mm)	500タイプ 2本	引出しタイプ 6本	扉タイプ 4本	—	—

アッパー・キャビネット

品 番	FTVU-154CL(R)	FTVU-254L(R) FTVU-304L(R)	FTVU-604	FTVU-654 FTVU-754
固定ねじ(ワッシャー付ねねφ4.5×60mm)				
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×30mm)	—	2本	—	—
取っ手	—	1個	—	2個
取っ手取付用ねじ(低頭φ4.0×24mm)	—	2本	—	4本

サイドベースキャビネット

品 番	FTVB-154H	FTVB-254H	FTVB-304H
固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)	—	2本	—
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×25mm)	—	2本	—
取っ手	—	2個	—
取っ手取付用ねじ(低頭φ4.0×24mm)	—	4本	—

ミドルキャビネット

品 番	FTVK-153	FTVK-252 FTVK-302
棚板	—	1枚
棚ダボ	—	4個
固定ねじ	4本 (皿φ4.5×60mm) 化粧用キャップ、 ワッシャー各4個)	4本 (ワッシャー付ねねφ4.5×60mm)
取っ手	—	1個
取っ手取付用ねじ (低頭φ4.0×24mm)	—	2本
落下防止バー	2本	—
落下防止バー取付用ねじ (皿φ3.0×20mm)	4本	—

ランドリーキャビネット

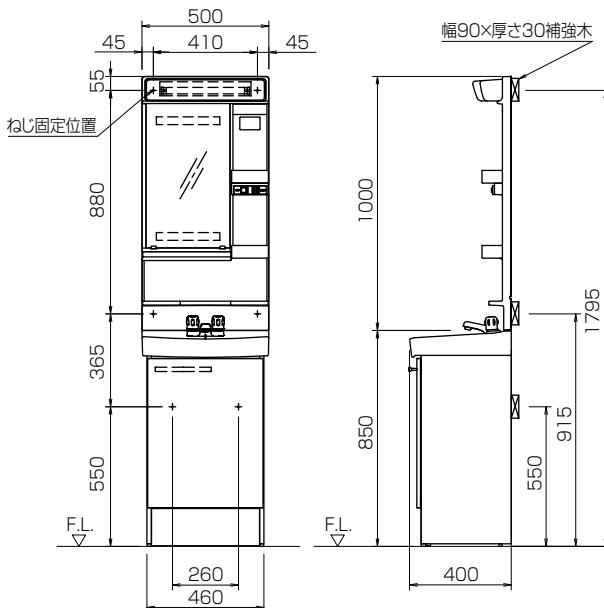
品 番	LCVK0-652
固定ねじ(皿φ4.5×60mm)	4本
化粧用キャップ	4個
ワッシャー	4個

●洗面化粧台 扉タイプ:FTVN- 500、503、504、600、603、604、605SY(N)1、605SY(N)1-W
750、753、754、755SY(N)1、755SY(N)1-W
引出タイプ:FTVH- 754、755SY(N)1、755SY(N)1-W

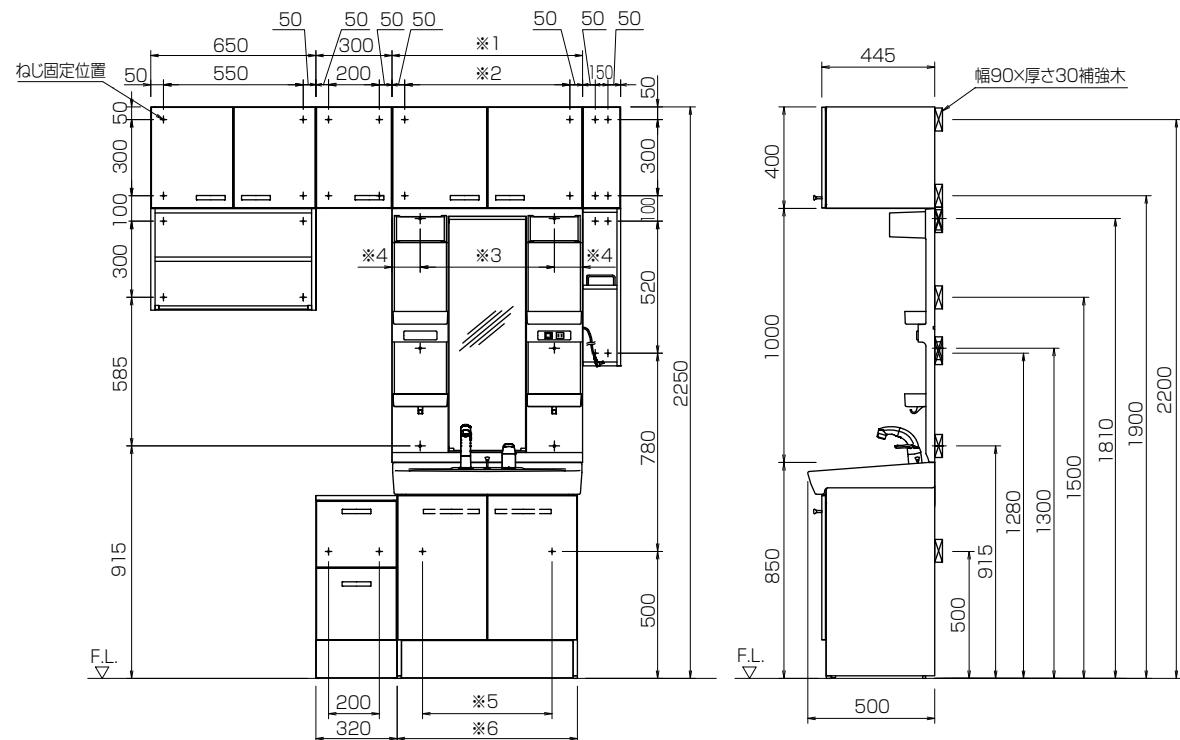
●ミドルキャビネット:FTVK-153、252、302
●ランドリーキャビネット:LCVKO-652
●サイドベースキャビネット:FTVB-154H、254H、304H
●アッパー・キャビネット:FTVU-154CL(R)、254L(R)、304L(R)、604、654、754

寸法図

●間口500mm



●間口600・750mm



▲上記図面仕様寸法

	※1	※2	※3	※4	※5	※6
間口600	600	500	490	55	360	560
間口750	750	650	640	55	510	710

取付前の確認

電気温水器・即湯システムについては、それぞれ付属の取付説明書をご覧ください。

1. 給水・給湯の確認

給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書(水栓金具に付属)をご覧ください。

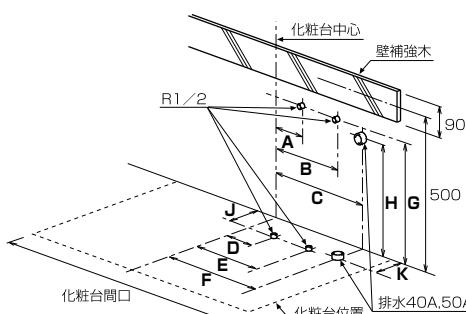
2. 配管工事の確認

給水・給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。



〈標準〉

間口(mm)	ゴム栓式			ブッシュワンウェイ式	
	500	600	750	600	750
A	50	50	50	50	50
B	140	140	140	140	140
C	0	0	0	0	右に270
D	50	50	50	50	50
E	140	140	140	140	140
F	0	0	0	0	右に270
G	420	420	420	420	420
H	490	440	440	400	400
J	100	100	100	100	100
K	140	140	140	140	140

〈電気温水器〉

間口(mm)	ゴム栓式		
	500	600	750
A	—	—	—
B	140	140	140
C	×	×	×
D	—	—	—
E	140	140	140
F	右に70	右に70	右に70
G	420	300	360
H	×	×	×
J	100	100	100
K	140	140	140

間口(mm)	ゴム栓式		ブッシュワンウェイ式	
	600	750	600	750
A	—	—	—	—
B	140	140	140	140
C	×	—	—	—
D	—	—	—	—
E	140	140	140	140
F	右に70	右に270	右に270	—
G	360	360	360	—
H	—	—	—	—
J	100	100	100	—
K	140	140	140	—

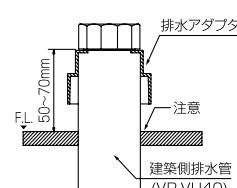
※表中“—”印:給湯管の配管は不要です。
※表中“×”印:壁排水には対応できません。

〈ほっとエクスプレス〉

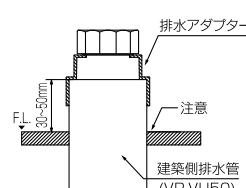
間口(mm)	ゴム栓式			ブッシュワンウェイ式	
	500	600	750	600	750
A	50	50	50	50	50
B	140	140	140	140	140
C	×	×	×	×	—
D	50	50	50	50	50
E	140	140	140	140	140
F	0	0	0	0	右に270
G	420	420	420	420	420
H	—	—	—	—	—
J	100	100	100	100	100
K	140	140	140	140	140

●床排水は下図のとおり取り出してください。

VP-VU40の場合



VP-VU50の場合



注意

建築側排水(VP・VU管)は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出してください。

※取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

●壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。

●建築側排水管と開口部に隙間がある場合は、シリコンでコーキングしてください。

3. 壁面工事の確認

警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

●この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。

●壁の不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。

●壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

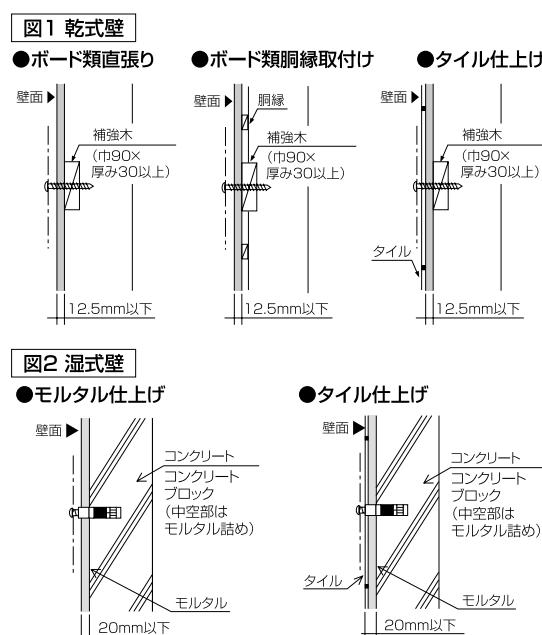
乾式壁の場合

- 幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」(P2.寸法図参照)に必ず設けてください。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度(図1乾式壁参照)と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
- 石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店さまに位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
- リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

湿式壁の場合

- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
- AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
- 壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

キャビネットを取付可能な壁面



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。

湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。

〈湿式壁の場合の取付方法〉

- ①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- ②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
- ※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- ③AYボルトを挿入してゴム筒を押させてボルトを抜き取ります。
- ④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

(別途手配)

品種	AYボルト	個数
ベースキャビネット	※KB-4X60T(AY)	1個
サイドベースキャビネット	※KB-4X60T(AY)	1個
アッパーキャビネット	※KB-4X60WT(AY)	2個
ランドリーキャビネット	※KB-4X60SC(AY)	2個

4. 床面の確認

- 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
- 床面は強固でガタつき、たわみが生じないことを確認してください。
- ※キャビネットがガタついたり、取付精度(納まり)が悪くなる恐れがあります。

お願い

洗面器と金具が接触すると、スジ状の線がつきます。万ースジ状の線がついた場合には#1200以上の耐水ペーパーやけんま剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。

お願い

排水口に貼られているシールは、もらいサビを防止するためのシールです。絶対にはがさないでください。
※排水口にもらいサビが生じる恐れがあります。

化粧台の取付け

お願い

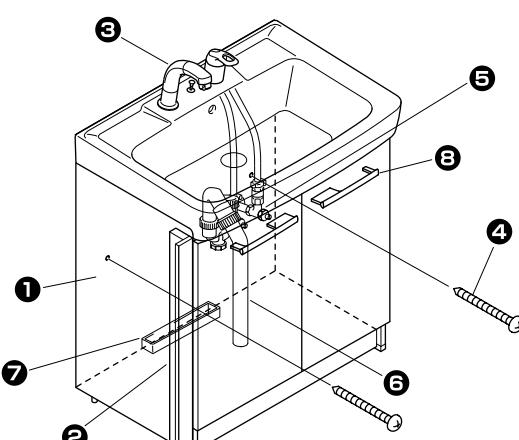
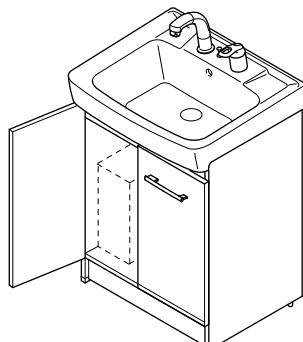
キャビネットの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

ワンポイント

- キャビネットを壁に固定する際、扉が邪魔になるときは、扉を外して作業することもできます。
※キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。扉を外した場合は、必ず扉を取り付けてください。
- 水栓金具・鎖付きゴム栓はキャビネットを壁に固定する前に洗面器に取り付けておくと、取付作業が行いやすくなります。

下記部材を取り付ける場合は、化粧台を壁固定する前に各部材付属の施工説明書をご覧ください。

●電気温水器を取り付ける



① ベースキャビネットの下準備

② サイドフィラーの取付け

※オプション品です。プラン上、サイドフィラーがある場合

③ 水栓金具の取付け

④ 洗面化粧台の取付け

⑤ 止水栓の取付け

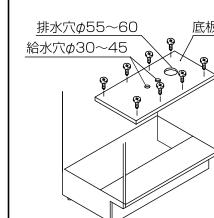
⑥ 排水トラップの取付け

⑦ 水受けトレイの取付け

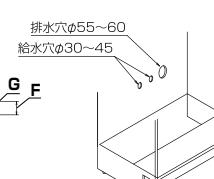
⑧ 取っ手の取付け

1 ベースキャビネットの下準備

〔床給水の場合〕



〔壁給水の場合〕



間口(mm)	標準					ほっとエクスプレス				
	ゴム栓式	ブッシュワンウェイ式								
A	73	123	198	123	198	73	123	198	123	198
B	420						420			
C	163	213	288	213	288	163	213	288	213	288
D	213	263	338	263	68				—	
E	490	440		400					—	
F		126					126			
G		86					86			
H	213	263	338	263	68	213	263	338	263	68

間口(mm)	電気温水器					ゴム栓式					ブッシュワンウェイ式	
	500(洗面)	600(洗面)	600(洗髪)	750(洗面)	750(洗髪)	600	750	600	750	600	750	600
A	73	123	123	198	198	123	198	123	198	123	198	123
B	420	300	360	300	360	360	360	360	360	360	360	360
C						—				—		—
D						—				—		—
E						—				—		—
F			126					126				126
G			86					86				86
H	143	193	193	268	268	213	263	338	263	193	268	143

2 サイドフィラーの取付け

サイドフィラー付属の取付説明書をご覧ください。

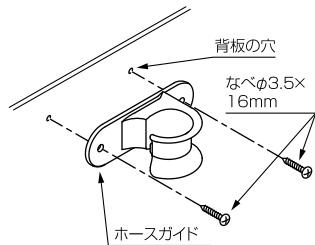
3 水栓金具の取付け

水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。
電気温水器が取り付くプランでは、給排水の取付方法が通常と異なります。電気温水器の施工説明書を参照し、取付けを行ってください。

■水栓金具のシャワーホースの取付け

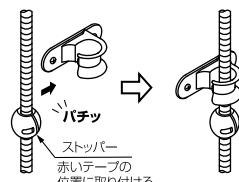
(SF-500SY(N)-MB8)

- キャビネット背板のガイド穴2ヶ所に付属のねじ(なべφ3.5×16mm 2本)でホースガイドを取り付けます。



- ホースガイド左側の切欠きに水栓金具のシャワーホースを押し当て、水栓金具のシャワーホースをホースガイドに通します。

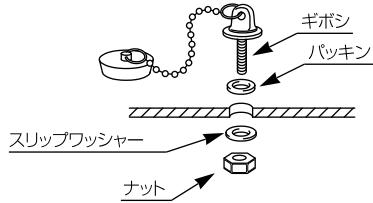
- 水栓金具に付属されているストップバーは、ホースに貼つてあるテープの所に取り付けてください。



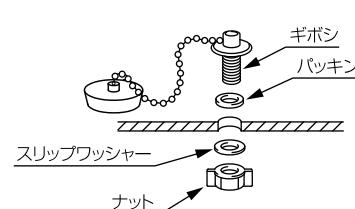
■鎖付きゴム栓の取付け

鎖付きゴム栓は水栓金具取付面に取り付けてください。ギボシ用穴にギボシを入れ、裏面からナットを手で締め付けてください。

(W500の場合)

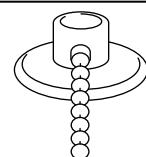


(W600・W750の場合)



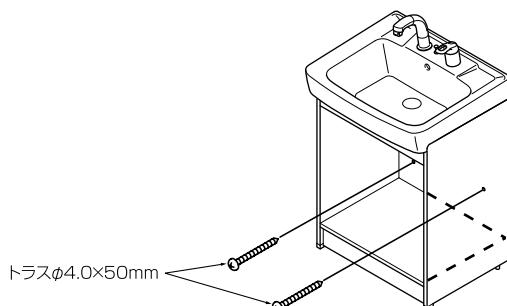
△ 注意

W600・W750の場合、鎖を正面の向きに合わせてください。



4 洗面化粧台の取付け

キャビネット本体を指定の位置に設置します。付属の固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)で洗面化粧台を壁に固定します。



お願い

化粧台の水平が出ないと破損、ガタツキが発生する恐れがあります。水平が出ているか、十分に確認をしてください。

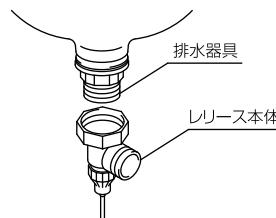
※複数のキャビネットを設置する場合は、壁面に接するキャビネットから順に設置してください。

△ 注意

レリースワイヤーや水栓金具の給水・給湯ホースを化粧台と壁の間に挟まないように設置してください。

■レリースの取付け(FTVN-***-W、FTVH-***-Wの場合)

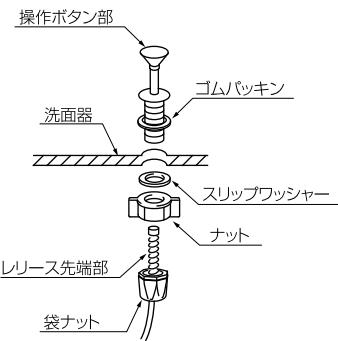
- レリース本体を洗面器の排水器具に取り付けます。



△ 注意

- 強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。

- 操作ボタン部は、洗面器の取付穴に取り付けてください。操作ボタン部を取り付けた後、ボタン部の筒内に、レリース先端部(スプリング装着部)を挿入させ、袋ナットで締め付けてください。



- 洗面器の排水口にヘアキャッチャーを取り付けます。

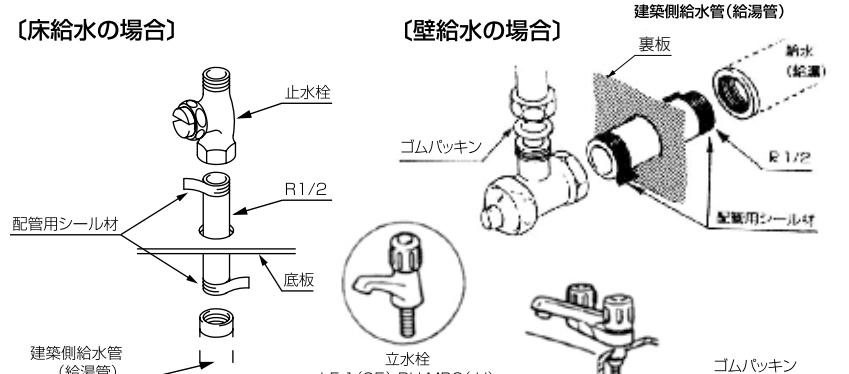
△ 注意

- ゴムパッキンとスリップフッシャーの取付位置を確認してください。
※取付位置を誤った場合、漏水を引き起こす恐れがあります。
- ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。

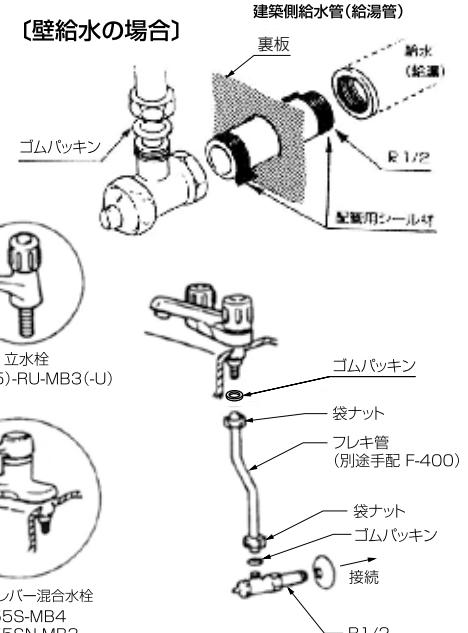
5 止水栓の取付け

- 止水栓はメンテナンス・流量調節に必要なため、必ず取り付けてください。
※止水栓は別途手配です。

(床給水の場合)



(壁給水の場合)



●フレキ管の取付け(フレキ管は別売品です)

フレキ管はゴムパッキンを介して取り付けてください。

※シングルレバー混合水栓(LF-4355S-MB4, LF-4355SN-MB3, LF-4355S(N)-MB5)の場合はフレキ管を使いません。

△ 注意

- 立水栓の場合は定流量弁ソケットを取り付けてください。施工方法は付属のちらしをご覧ください。

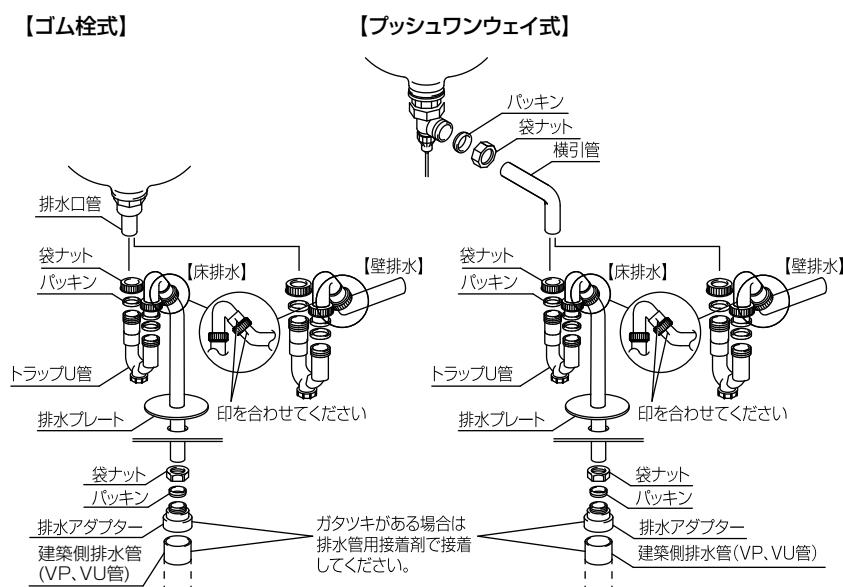
※水がはねたり、水があふれたりする恐れがあります。

- 後述の「取付後の確認」で流量を調節してください。
※吐水に必要な流量が得られない場合があります。

6 排水トラップの取付け

- 洗面器下の排水器具の一部と排水トラップを図のように取り付けてください。

【ゴム栓式】



注意

- 横引管が逆勾配にならないように取り付けてください。
※排水能力が悪くなります。
- 排水口はあらかじめ洗面器に取り付けてあります。増締めはしないでください。排水口がゆるんでいる場合は、980N·cm (100kgf) で締めてください。

注意

- 工具などで強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水口以外のナットは手でしっかりと締め付けてください。
- 排水口に横引管を合わせ、袋ナットを手で締め付けてください。
- あらかじめ横引管に袋ナット、パッキンを通し、それからトランプU管を差込部の最後まで入れてください。

注意

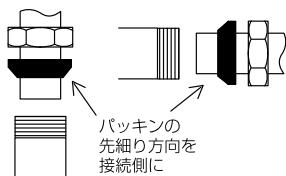
- ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付トルクの目安は3.5N·mです。
※締付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップは建築側排水管に接続する際、長さに余裕がある場合でもカットしないでください。
※材料収縮により漏水の原因となる恐れがあります。

注意

- 壁排水時、排水トラップのくぼみが建築側の継手やアダプターと重ならないように注意してください。
- 接着には耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。
※漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

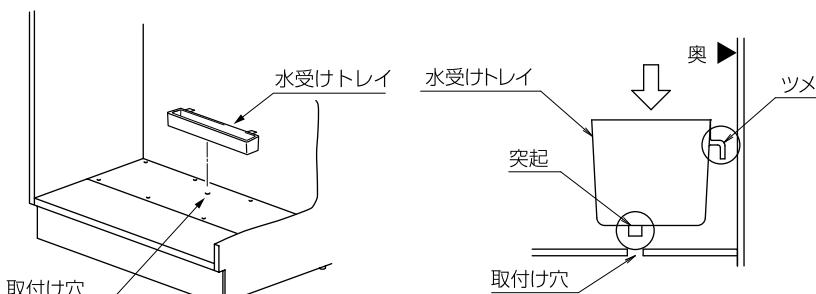
△ 注意

- 排水トラップは、印を合わせて取り付けてください。
※排水能力が悪くなり、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 引出しなどが排水トラップに干渉していないか確認してください。
※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- パッキンの向きに注意してください。
- 管は奥に当るまで差し込んでください。
- 袋ナットはしっかりと締めてください。
※漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



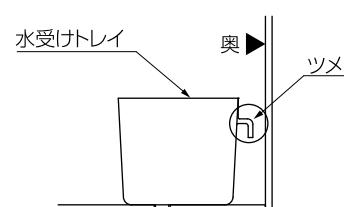
7 水受けトレイの取付け

水受けトレイをホースの下方に設置します。キャビネット底板の取付け穴に水受けトレイの突起を差し込みます。



お願い

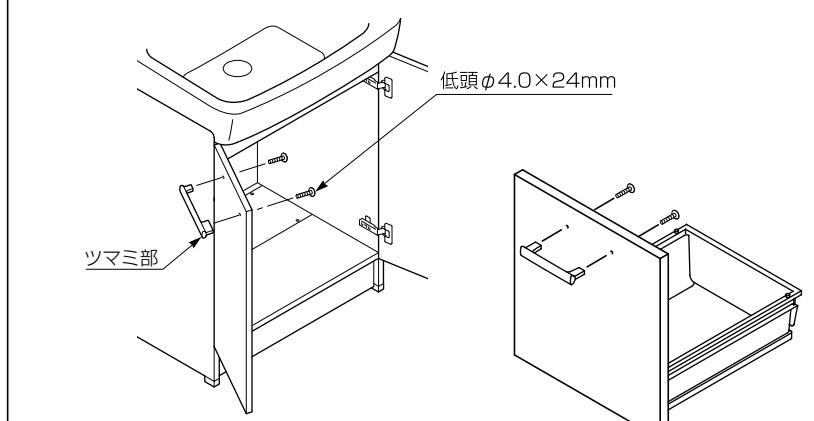
水受けトレイのツメを奥に向けて取り付けてください。



8 取っ手の取付け

取っ手を取り付けるねじ(低頭φ4.0×24mm)で図のように手回しプラスドライバーで取り付けます。扉の取っ手はツマミ部分が吊元の反対側に来るよう取り付けます。詳しくは取っ手に付属のちらしをご覧ください。

※電動ドライバーは使用しないでください。締付トルクが強すぎるため、ねじが空転して取り付けられなくなることがあります。

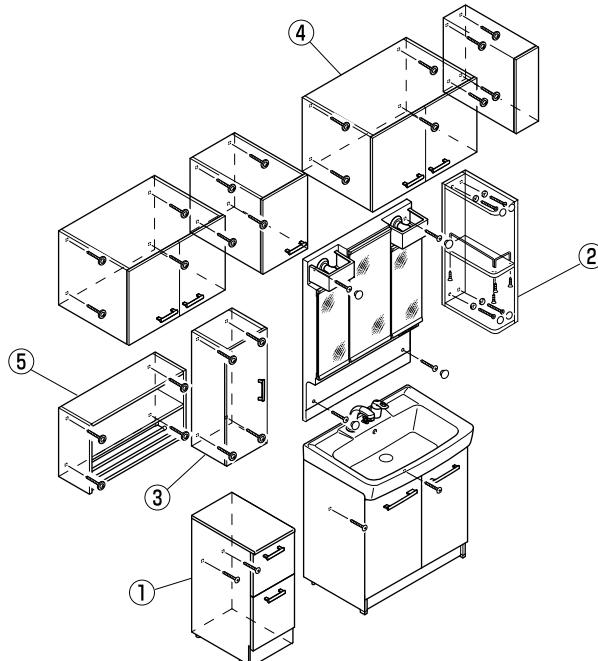


周辺キャビネットの取付け

△ 注意

キャビネットの取付位置は、周囲の可動物と扉が当たらないことを確認してください。

※使用中、扉が当たり、破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



①サイドベースキャビネットの取付け

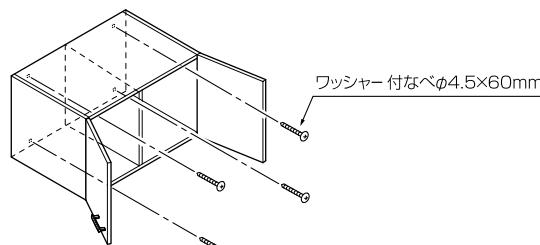
サイドベースキャビネットの前面を洗面化粧台の扉前面に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)で壁に固定します。

※隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は後述のキャビネットの連結をご確認ください。

④アッパーキャビネットの取付け

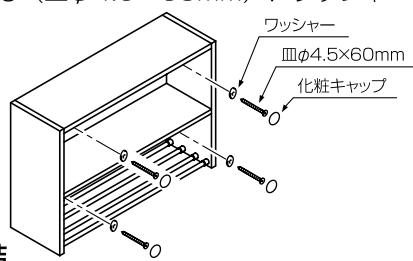
アッパーキャビネットをミラーキャビネットまたはミドルキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)で壁に固定します。

※隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は後述のキャビネットの連結をご確認ください。



⑤ランドリーキャビネットの取付け

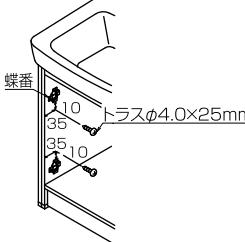
キャビネットの上面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(皿φ4.5×60mm)、ワッシャー、化粧キャップで壁に固定します。



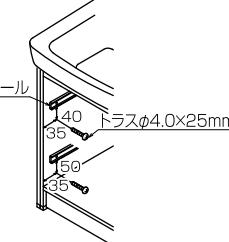
⑥キャビネットの連結

隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は、図のようにキャビネット連結用ねじで固定します。

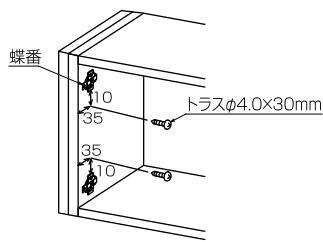
〔扉タイプの場合〕



〔引出しタイプの場合〕

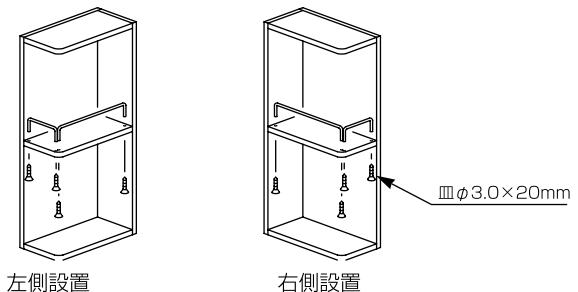


〔アッパーキャビネットの場合〕

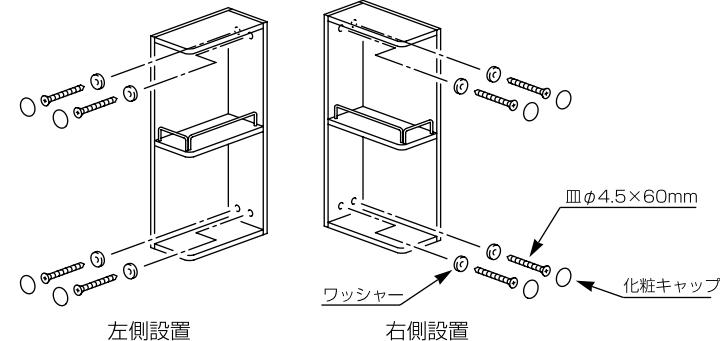


②ミドルキャビネット(FTVK-153)の落下防止バーの取付け

(1)出荷時は化粧台の左側設置となるように落下防止バーが固定されています。右側設置の場合は、落下防止バー取付用ねじ(皿φ3.0×20mm)を取り外し、正しい向きに取り付けてください。



(2)ミドルキャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(皿φ4.5×60mm)で壁に固定します。ねじの上から化粧キャップをはめてください。



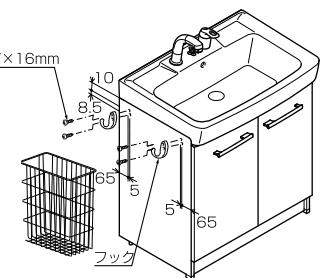
③ミドルキャビネット(FTVK-153以外)の取付け

ミドルキャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)で壁に固定します。

オプション品の取付け

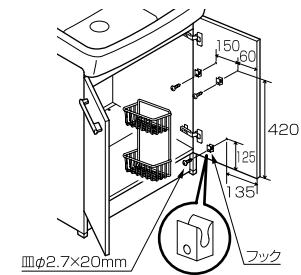
■サイドバスケット(BB-TD1-23)の取付け

サイドバスケットを取り付ける場合は、下図 皿φ2.7×16mm により同梱のフックを固定ねじ(皿φ2.7×16mm)にて取付後引っ掛けます。

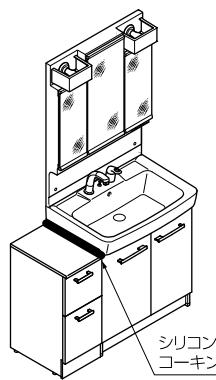


■扉用バスケット(BB-EX5)の取付け

扉用バスケットを取り付ける場合は、下図 皿φ2.7×20mm により同梱のフックを固定ねじ(皿φ2.7×20mm)にて取付後引っ掛けます。



洗面器周囲のシール



●洗面器と壁あるいは隣接キャビネットとの合せ部をシリコンでコーティングします。

△ 注意

コーティングしないと、合せ部から水が浸入しキャビネットや壁・床を傷める恐れがあります。

取付後の確認

■キャビネット本体の確認

- 取付ねじが十分に締まっていること。
- ガタツキがないこと。
※ガタツキがある場合は、ねじ位置を変えて取り付け直してください。
- 扉のチリがそろっていること。
※そろっていない場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

■吐水、排水量の確認

排水栓を閉じて満水にした洗面器へ吐水するときに、洗面器から水があふれないように水側、湯側の止水栓をマイナスドライバーで回して流量(L/分)を調節します。不用意に水栓金具のハンドルを全開にした場合の水の飛散を防止するために、水栓金具のハンドルを全開にして、水栓金具が各々の流量(L/分)になるように湯水の止水栓を調節してください。洗面器が満水になるまでの時間は下表の通りです。

■吐水口の掃除

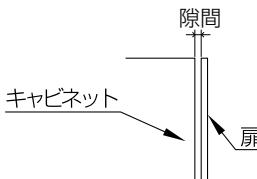
通水確認時に吐水口の掃除を実施してください。
※詳細は、水栓金具に同梱の施工説明書をご確認ください。

	立水栓 5.0L/分	シングルレバー 混合水栓 8.0L/分	ツーハンドル 混合水栓 8.0L/分	シングルレバー 洗髪シャワー水栓 8.0L/分
間口				
500	約1分10秒	約45秒	約45秒	—
600	約2分10秒	約1分25秒	約1分25秒	約1分25秒
750	約3分00秒	約1分50秒	約1分50秒	約1分50秒

プッシュラッチの調節

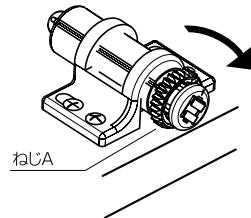
(1) 扉と本体の隙間を確認します。

基準値：隙間2mm



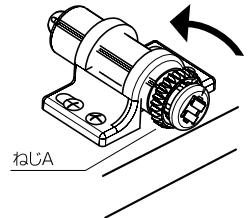
●隙間が大きい場合

プッシュラッチのねじAを右に回します。



●隙間が小さい場合

プッシュラッチのねじAを左に回します。



(2) 扉を開閉しているプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

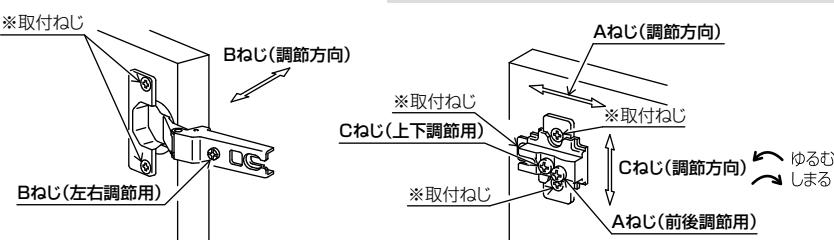
扉の調節

ワンポイント

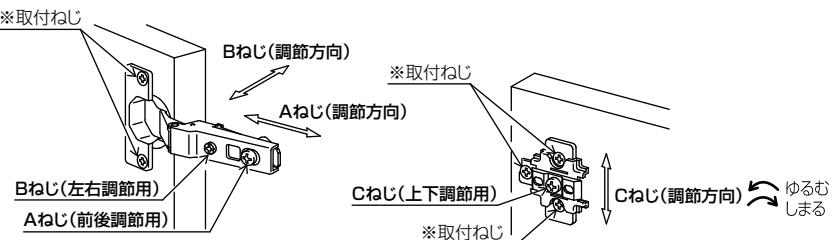
- Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
- 2枚扉(両開き)の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。

●ねじ固定式の場合

※取付ねじは絶対にゆるめないでください。



●ワンタッチ式の場合



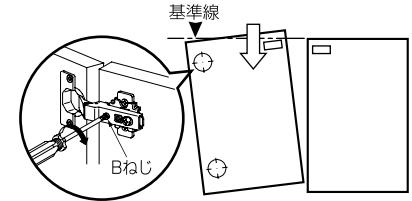
注意

調節後は、必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。

※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

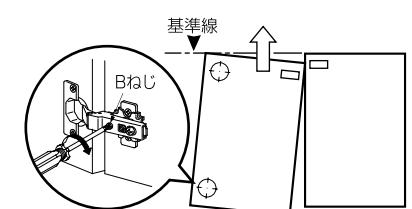
●扉の先端が上がっているとき

- ①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



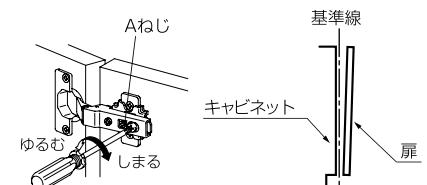
●扉の先端が下がっているとき

- ①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



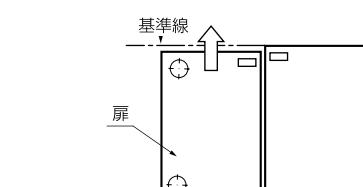
●扉と側板の隙間が上下異なるとき

- ①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
- ②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

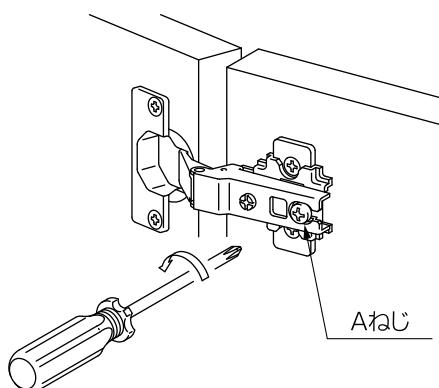
- ①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
- ②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



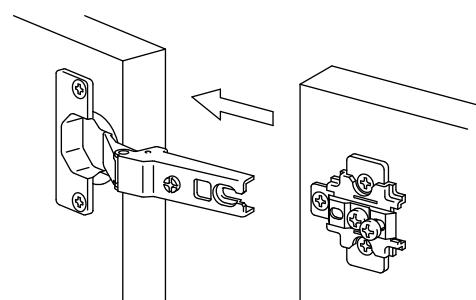
扉の取外し方法

●ねじ固定式の場合

(1) Aねじを手回しプラスドライバーでゆるめます。

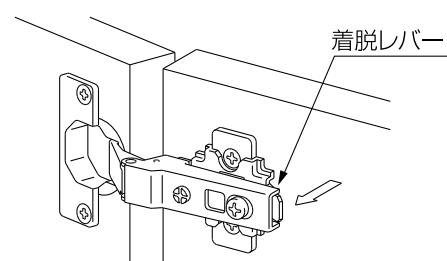


(2) 扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

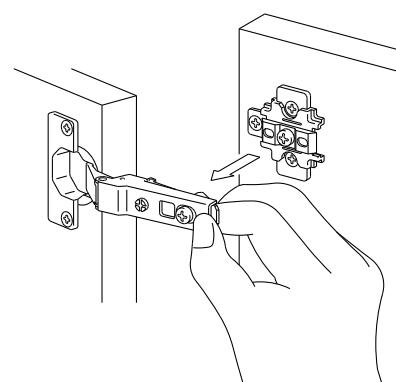


●ワンタッチ式の場合

(1) 蝶番の着脱レバーを矢印の向きに引っ張ります。



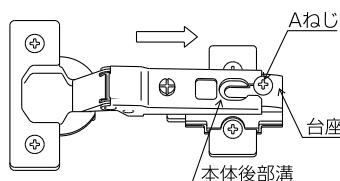
(2) 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



扉の取付方法

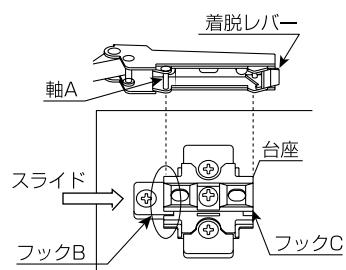
●ねじ固定式の場合

本体後部溝を台座固定のAねじに差し込み、Aねじを締め付けます。

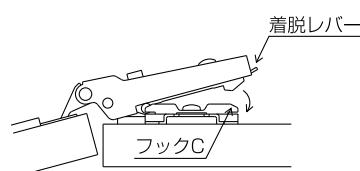


●ワンタッチ式の場合

(1) 扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸AをフックBに引っ掛けます。



(2) 蝶番の着脱レバーを、フックCに合わせます。



(3) 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。

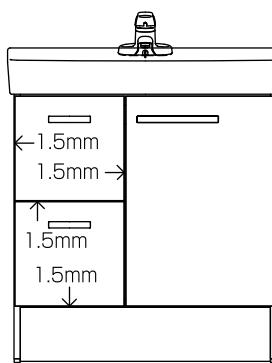


注意

扉の取付後は、蝶番が台座へしっかりとまっていることを確認してください。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

引出しの調節

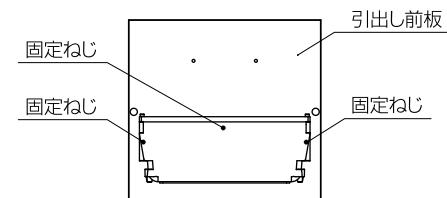
●固定ねじの調節方向と調節量



固定ねじを軽くゆるめて、引出し前板を少しずつ動かして調節します。

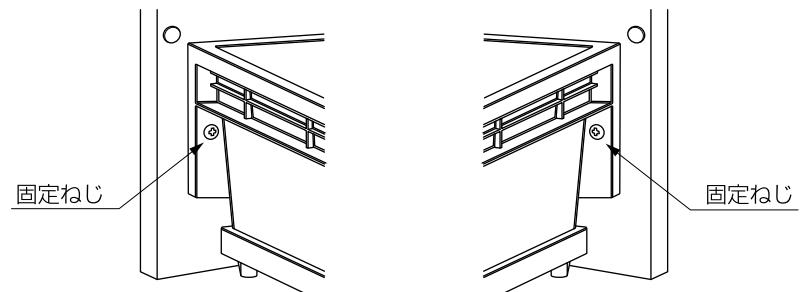
左右調節 右へ1.5mm、左へ1.5mm

上下調節 上へ1.5mm、下へ1.5mm



(1)引出しを取り外します。

(2)図の位置にある左右中央の固定ねじを手回しプラスドライバーでゆるめます。



(3)手回しプラスドライバーで固定ねじを締め付けます。

(4)引出しを取り付けます。

(5)正しい位置になるまで繰り返します。

注意

調節後は、必ず固定ねじが固く締まっていることを確認してください。
※ゆるんでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。